

令和5年度 第1回木更津市地域自立支援協議会全体会議録

出席者(回答者):野中会長(身体障害者福祉会)、鈴木(清)副会長(木更津市社会福祉協議会)、
 檜東委員(民生委員児童委員協議会)、
 河東委員(コスモス成年後見サポートセンター)、
 並木委員(君津ふくしネット)、清川委員(ケアセンターさつき)、
 高橋委員(かずさ萬燈会)、内海委員(みづき会)、藤原委員(のゆり会)、
 遠藤委員(居宅介護事業連絡会)、中村(敏)委員(日中活動連絡会)、
 関根委員(木更津病院)、鈴木(均)委員(袖ヶ浦さつき台病院)、
 橘川委員(きっかわクリニック)、西浦委員(木更津警察署)、
 露崎委員(君津健康福祉センター)、中村(博)委員(君津児童相談所)、
 田中委員(木更津公共職業安定所)、前田委員(消防本部)、
 山本委員(危機管理課)、小磯委員(土木課)、笹生委員(住宅課)、
 古賀委員(健康推進課)、森竹委員(子育て支援課)、
 草苅委員(こども発達支援課)、木村委員(高齢者福祉課)、
 大倉野委員(福祉相談課)、上田委員(学校教育課)、
 佐々木委員(君津特別支援学校)、鶴岡委員(商工会議所)、
 古山委員(視覚障害者福祉協会)、石川委員(手をつなぐ親の会)、
 寺本委員(ろうあ協会)、志渡委員(つくし会)

記 録:福原(ほっと)

書面開催とし、FAXにて意見を聴取する(回答期限:令和5年7月10日)

議題. 令和5年度専門部会活動計画(案)について

・賛成 34名

委員名	意見	事務局
草苅委員	こども部会では、例年ライフサポートファイルの検討が行われているようだが、こども発達支援の現場では、ライフサポートファイルが有効に機能することを望んでいる。コンパクトで使いやすいもの、電子化の検討も含め考えていただけることを期待している。	サイズが大きいとの意見や認知度の低さがあるため、今年度その点も踏まえ活用方法を検討して参ります。

報告1. 君津地区四市精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム構築連携会議について

・意見なし 32名

委員名	意見	事務局
清川委員	構築連携会議の参加者人数、参加機関名を明記しても良いと思う。	別紙資料を添付いたします。
大倉野委員	精神障害があると、退院後住まいを確保するのも大変で、なかなか地域に戻れない方もいると思うので、新たな社会資源の検討を期待している。	令和5年度包括ケアシステム構築推進事業第1回君津圏域実務者会議の中でも、住まいを探すのは難しい現状があると意見がございました。その意見も踏まえ、本会議体では地域移行を進めていく上でグループホーム以外の選択肢でアパートに住みたいといった時に、受け入れてくれるのか等、地域移行を進めていく上で必要な資源の開発なども検討して参りたいと思います。
上田委員	この会議についての意見ではないが、どこで伝えたら良いのかわからないため、参考までに記させていただく。近年小中学校では、保護者が精神疾患を患っているため、その子どもが家庭内において、様々な困難さを抱えているケースが多くなってきている。虐待なのではないか、ヤングケアラーではないか等の相談が相次いでいる。精神障害の親を持つ子どものケアについても、連携を図った対応が必須ではないかと本当に思う。	障がいのある親、その子どもも障がいを抱えており不登校といった世帯で支援が必要なケースが最近みられています。また、親だけ障がいがある場合、親のみ支援の目が向けられてしまいがちですが、なかなか子どもの状況把握が難しいことは課題点として挙げるため、ともに暮らす家族に対しても包括的な支援を行えるよう教育機関や児童の関係機関との情報共有をしながら連携し、世帯丸ごと支援を行えるように努めてまいります。

報告2. 地域生活支援拠点等整備事業について

・意見なし 32名

委員名	意見	事務局
野中会長	事業所等の位置図があると良い。	位置図ではありませんが、地域ごとに分類したものをホームページにて公表予定です。

大倉野委員	コーディネーターが、どのような活動をし、緊急的受入れてもらった、新たな体験の場とマッチングしたのが何件という実績を記載してもらえれば相談に来た人に紹介できると感じた。	基幹相談支援センターや相談支援事業所がコーディネーターの役割を担っております。現在、緊急対応になる前に関係機関と連携し対応できているため、実績としてはまだあがっていません。今後、個々のケースに応じて活用していきたいと思います。
-------	---	---

報告3. 日中サービス支援型グループホームの評価について

・意見なし 33名

委員	意見	事務局
並木委員	評価結果を他のグループホームや一般に公表しているのか教えて頂きたい。	市が評価を行い、県へ報告書の提出を行っています。公表は行っておりません。

依頼事項. (仮称)第6次きさらづ障がい者プランについて

・意見なし 29名

委員	意見	事務局
高橋委員	P31 ボランティア活動やNPO 活動の推進に関して、年々、ボランティア活動者が減っていると聞くと、活動者数の変動に応じた推進策が図られているのか。	障がいへの理解を促進し、社会参加の場と機会の増進に寄与できる内容の記載を検討します。
	P44(2)就労支援と場の拡充に関して、社会的な変動もあり、就労支援と場の拡充は支え手側の支援も必要と感じる。福祉事業所や雇用企業のタイアップにおけるネットワーク強化、財源的な支援が必要ではないか。	就労の受入に係る連携の強化等の記載内容を検討します。
	P46(1)バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進に関して、きさらづの町づくり～ユニバーサルデザインの全体的なイメージが市民観点からも湧きにくい。財源的なこ	記載内容を検討します。

	ともあるが、次世代が夢を持てる計画化とは何か。5年後、10年後へどのような町づくりをしていくのか。	
遠藤委員	アンケートについて 視覚障がいの方も書面で調査をしているのか。	書面にて調査をいたします。そのため、ご家族等の支援者に協力をお願いします。
露崎委員	アンケート調査項目の権利擁護に関して、質問項目の追加の検討を希望する。「障害者差別解消法」について、ご存じですか。 1.名前も内容も知っている 2.名前は知っているが、内容は知らない 3.名前も内容も知らない	ご意見のとおりとします。
木村委員	プラン P50主要施策③施策の概要中「通常の学級に在籍」とありますが、「普通学級」、「市立小中学校に在籍する」などの方が良いのではないかと。	記載内容を検討します。
	P52、4つめの○「他分野」→「多」でなくてよいのか、高齢者のほうでは、「多職種連携」というものがあるため。	ご意見のとおり修正します。
大倉野委員	障害福祉サービスや成年後見の施策に意思決定支援の記載を求める。	記載内容を検討します。